

# 業務部速報

発信者》JREU  
仙台地本業務部 / 湯ノ目  
〒983-0852  
仙台市宮城野区榴岡1-4-3  
TEL 022-297-0155  
FAX 022-291-3070  
JR 031-3981~3  
FAX 031-3980  
2018年 11月 21日

## 2018年度 申2号「2018年度冬期対策について」に関する団体交渉②

【会津若松支部関係】

(3項) 旅客流動と線区の特徴、この間の施策(ワンマン化、エリアセンター化)を踏まえ、磐越西線における除雪体制を明確にすること。また、雪害による旅客救済の体制を明確にすること。

降積雪状況を踏まえ、必要な除雪は実施していく考えである。また、お客さま救済等については、雪害対策マニュアルに則り対応することとなる。

(主な議論)・猪苗代、中山宿駅での列車停止位置融雪装置、喜多方駅でのポイント融雪装置の設置、昨冬に引き続き沼上信号場等での計画的な除雪や猪苗代駅にグループ会社の主任作業責任者の泊体制を行なっていく。

また、(団体交渉も行なった)地区センターへの1名増体制により除雪を行なっていく。お客さま救済については、この間通り、乗務員だけの負担とならない様に、地区として行なっていく。

(4項) 猪苗代駅業務委託による、冬期体制を明確にすること。また、委託に伴い無人駅への放送案内等の実施方について明らかにすること。

受託会社との間で締結された駅業務委託契約に則り取り扱うこととなる。また、無人駅への情報提供については、これまでも実施してきたところであり、今後も継続して実施していく。

(会社)・昨年度との変化については停目付近の融雪マットの設置がある。

- ・昨年度からグループ会社において泊体制で除雪を行う。
- ・ポイント不転換対策として、今シーズンから必要な教育を行ないグループ会社でもポイント除雪を行う。
- ・無人駅への放送は、会津若松駅と猪苗代駅でも放送設備を残し本体でも放送出来るようにする。

(組合)・融雪マットの増設を求めました。

- ・教育を受けていない方(グループ会社)に対してポイント除雪を行わせない事を確認しました。

(5項) 会津若松駅冬期助勤体制を明確にすること。

必要な要員は確保しているところである。

(会社)・提案時の体制を取る。

- ・支社として昨年同様20名程度の除雪体制を取り何かあれば行って頂く。

(組合)・旅客室が女性ばかりにならないような体制への配慮を求めました。

(6項) ビッグロモ運転時のポイント不転換対策を明確にすること。

今後も必要な対策は実施していく考えである。

(会社)・秋田支社で行われているフランジャーの改良を会津若松でも行い、順次、様子を見ていきたい。(秋田支社ではポイント不転換をあまり聞かない)

- ・ポイント不転換除雪の考え方はこれまでと変わらない。